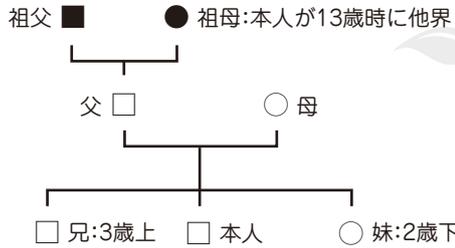


発達支援ファイル記入例

1.環境

● 家族構成



書き方

おとこ □ おんな ○

● 家族と本人との関係

(例) 2歳～5歳:兄→本人:とても可愛がっている

本人→兄:何でもまねして兄から学んでいるようだ

2歳:父親に叱られることが多い

→父の障害理解が深まり、5歳ごろには叱られることが減った

4歳ごろ～:本人→妹:可愛がるが、自分が遊びたいと妹が嫌がっても我慢できずちょっかいを出し、

よく喧嘩になる→思春期になって改善

9歳ごろ～:妹:兄のことで学校で何かつらい思いをするようだが兄を責めたりしない

● 養育環境の変化(転居、親の転職、家族構成の変化など)

2歳時、妹が生まれる

幼稚園年長のときにS県より転入

13歳時、祖母が他界(甘える対象を失った感じ)

2. 周産期から新生児期まで（生後4週に入るまで）

- 妊娠中の異常（なし あり）

切迫早産（1か月安静）

- 出生時の異常（なし あり）

週数： 38 週 2 日

仮死 なし あり

先天性代謝異常検査の異常 なし あり

新生児聴覚検査の異常 なし 要再検査

体重 3210 g 身長 48 cm 頭囲 32 cm

- 新生児期の異常（なし あり）

原因不明の発熱で3日間点滴をした。

退院時の脳MRIは異常なし

*その後の医療的事項については“医療”の頁へ





4. 幼児期の成長発達

年齢または日付	生活習慣・身辺自立	運動の発達 手指の発達	ことばや対人関係の発達
1歳2か月		歩けるようになった	アンパンマンのみ言える
			パパ、ママは教えてもなかなかだった
1歳半健診のころ	寝つきが悪い	小走りできる	健診の診察室から出て行ってしまい、
	まだおっぱいを欲しが	積み木は家ではつめるが健	止めると癩癩を起こした。発達検査は
		診ではしなかった	できず、ことばの遅れで後日電話確認
			になった
2歳ごろ	断乳しようとしたが激しく泣	外に行くのと走って行ってしま	ことばは増えてきた。トーマスの絵本
	くのであきらめた	って、呼んでも戻らず、目が	が大好きで、指さしてママに機関車た
	おしっこは知らせないで勝手	離せない(このころから多動	ちの名前を言わせるのがブーム
	にトイレに行ってちゃんとで	だった)	叱っても触ってはいけないものに触っ
	きたが、ウンチはパンツの中		たりするので困った
	です		同じくらいの年齢の子に興味がない
			名前を呼んでも知らん顔をしているこ
			とが多かった

幼児期の成長発達（つづき）

年齢または日付	生活習慣・身辺自立	運動の発達 手指の発達	ことばや対人関係の発達
3歳半健診	寝つきが悪い(寝る前に必ずトーマスの絵本を3冊読む)	特に問題なし	ことばの遅れはないが、受け答えがみ合わないし、やりとりが乏しいので、療育センターを紹介された
	着替えは気が向いたらできる		
3歳8か月	療育センター受診し高機能自閉症の疑い (詳細は医療ページに記載)		
3歳10か月	△△保育園入園(発達支援員の配置あり)		
4歳半ごろ	ウンチがトイレでできるようになった!!	自転車が少しこげる	簡単な会話ができるようになってきた
	友達から誘われたのがよかったようだ	描画は相変わらず抵抗が大きい	が、複数の友達同士が話し出すと入れずにスーっとどこかに行ってしまうとのこと(保育園で)
5歳2か月	身の回りのことはほとんど自分でできるけど、ポーっとして進まないことも多い(小学校のことを考えるとあせってイライラした)		療育センターでソーシャルストーリー(SS)を習ったので導入する SS1)横断歩道をわたるとき SS2)じゃんけんのやり方



幼児期の成長発達（つづき）

年齢または日付	生活習慣・身辺自立	運動の発達 手指の発達	ことばや対人関係の発達
5歳3か月	生活動作はスローだけど特		待ち時間が長いと大きい声で独り言を
	に問題なし		言う
	偏食も少しずつましになって		SS3)声の大きさをめり
	きた(野菜はまだ苦手)		
			あだなを言われるととても怒って手が
			出ることもある
			SS4)名前呼び方にはいろいろあって
			もいよいよ (お友達には先生からこの子の気 持ちを話してもらった)
5歳9か月			保育園で男の子たちと「こおり鬼」がで
			きた
			鬼になるとちょっと泣きそうになったけ
			ど持ちこたえた →まだなかなか気持ちいが表現できない
6歳3か月	時計を見ながら朝の準備が	人物画は描こうとしないけど	SS5)教室で勉強をするときのやり方
	できるように練習して改善	数字は自発的に書く	





5.学童期の成長発達

学年または日付	生活習慣・身辺自立	社会性の発達	学習面の発達	
6歳10か月	〇〇小学校入学(通級指導あり)		IEP(個別教育計画)	
1年1学期	忘れ物が多いので家でチェック表を作成	保育園から顔なじみの友達が多く、友達が気持ちを汲んでくれてうまくいくようだ	計算はできる 文字の形が取りにくく枠に入りにくい →療育センター相談 →Dyslexia(読字障害)の診断	
	同上	友達の助言に怒ってしまうことがある →SS6)友達が教えてくれるとき	机上学習態度は良好 書字は本人なりのペースでがんばっている	
	1年3学期	同上	安定している 画数の少ない漢字はほぼ定着	
	2年1学期	忘れ物は改善あり 次期目標「連絡帳を書く」	友達を求めている姿が見られる	
		「連絡帳を書く」 50%程度の達成率	安定している 学年が上がったことで張り切る様子が見られる	国語の時間に集中が途切れやすい →短期目標を持たせるとがんばれる
		2年修了時	「連絡帳を書く」 100%の達成率 (字は汚くても良しとする)	学校のリズムやルールには概ね慣れてきた 3年生では役割意識を持ってやりきる経験をしてほしいです

学童期の成長発達（つづき）

学年または日付	生活習慣・身辺自立	社会性の発達	学習面の発達
3年1学期	忘れ物は他児童よりやや多い	担任が代わってやや不安定	理科、社会にも興味を持って取り組める
	自覚がないことが問題	→複雑なことは避け、できていることを強化する方針で	
3年2学期	同上	安定してきた	
	チェック表再導入	係活動で混乱する前にチェック表を作るとうまくいく	
3年修了時	忘れ物、引き続き取り組み必要	大きな問題はないがマイペース	漢字も枠内に収まるようになってきた
	(学年が上がり教科ごとの必要物品が増えた分、むしろ忘れ物は増えている)		国語の読解に難点があるが本人なりにがんばって参加しているので認めていって下さい
			→IEP
4年	チェック表継続	社会見学での取り組み	算数の習得状況は良好
	一部「置き勉」認めてシンプルにする	(別紙ファイル) 集団の動きができたが人ごみでの周囲への注意が不十分で課題が感じられる	理科、社会で新規の概念が出てくるときに困難あり→前もってまとのプリントを渡しておく
4年修了時	改善あり	上記、今後の取り組みに入れて下さい	IEP
	自覚を促す取り組みは継続必要		



学童期の成長発達（つづき）

学年または日付	生活習慣・身辺自立	社会性の発達	学習面の発達
5年	高学年になった自覚が持てて	本人のスタイルを周りの子がよ	学習態度は良好(他の子より真
	いる	く理解しているのだが、もう少し	面目)
	忘れ物を減らそうと努力する姿	積極的に接点を作ってもよいの	→つまりとショックが大きいこ
	がある	ではないか	とがある
			SS7)わからない問題があった
6年	学校生活上は基本的な力はつ	修学旅行での取り組み	スキルに凸凹があり、中学校でも
	いた	(別紙ファイル)	配慮が必要と思われる
	家ではゲームの時間がだんだん	目標を持って行動できた	→知能検査、関連機関ミーティン
	長くなっている	時間にややルーズなところがあ	グ、移行支援計画(別紙ファイル)
		った	
12歳10か月	〇〇中学校入学		IEP
中1の1学期	持ち物の管理は概ねできている	パソコンクラブで対人トラブル	学習内容が増えたのでノートが
	が、いつもと違う物品があるとき	なく参加している	取りきれていない
	は声掛けをしたほうが良い		書くことの困難さを考慮して各
			教科担任に負担の軽減も検討
			して頂きたい
中1の2学期	夏休み明け、朝行き渋りあり	必要以上に他生徒が指示的声	学校生活全般についてプレッシ
	→体育祭の練習の負担は大き	掛けをしないように見守る必要	ャーあり?
	い可能性	あり	両親と学校スタッフの面談を設
	→話を聞くスタッフが必要	気の合う生徒は誰か?	定(記録ファイル)
		観察して下さい	

学童期の成長発達（つづき）

学年または日付	生活習慣・身辺自立	社会性の発達	学習面の発達
中1の2学期 つづき	体育祭終了後、行き渋りは改善	精神的につらい中で体育祭に部	定期テストに向けての時間配分
	次の行事(合唱コンクール)につ	分参加できたことは評価できる	についてアドバイス
	いては早めにスケジュール提示	本人にも一定の役割が果たせ	→苦手な教科(英語)を避ける
	をし、参加の仕方(本人に期待さ	たことを自覚させ、次への自信を	傾向あり
	れる役割)について話し合ってお	持たせるようにしたい	
	くことが必要	→合唱コンクールは参加できた	
中1の3学期	短いこともあり安定して過ごせ		→IEP
中2の1学期	リズムにのれている感じ、表情良	クラスメイトよりもパソコンクラ	得意な教科(数学)はがんばる
	く楽しそう	ブの友達といることが多い	苦手科目はテスト勉強をしてい
		一部の生徒が不適切な関わり	ないがテストは真面目に受ける
		をするので注意しておく	
中2修了時	特に問題はない	友達関係は限定されているが	教科によって凸凹が激しい
		居心地よい環境である	→IEP
中3	特に問題はない	一部の生徒がちよっかいを出す	進路相談
		→できるだけ取り合わないよう	私立△高校(HFPDD:高機能広
		に指導	汎性発達障害の受け入れ実績
		→嫌だという気持ちを伝える方	あり)について情報収集
		法を指導	
		→一部の生徒にも不適切行動	
		を指導	



7.福祉的かわり《利用サービスの内容》

年齢または日付	施設名、機関名	内容
4歳0か月～就学まで	さくらんぼ園	療育目標
		・楽しく体を動かす(苦手意識の改善)
		・お友達との遊びの中でルールが守れる
		・数概念の向上
		・描画、製作スキルの向上
		・お話を聞いて文脈を理解する
		→まとめは別紙



8. こども家庭センターのかかわり

年齢または日付	健診・相談・訪問など	状況など
H〇年〇月〇日 (1歳6か月)	1歳6か月児健診 受診	「要観察」 ・ことば「マンマ」「ブーブー」2語 ※2歳で確認(電話または訪問)
H〇年〇月〇日 (2歳)	2歳 訪問	・ことばは増え、二語文が出ている ・外出時に目が離せないなど、行動面では、経過観察が必要 発達相談の勧め
H〇年〇月〇日 (2歳)	2歳 発達相談	・注意を長く向けておくことが苦手 ・対人関係で、時に一方通行になる ・上記について、遊びの教室の勧め
H〇年〇月～〇月 (〇歳～〇歳)	のびすく教室 参加	・〇〇遊びの時は、集中して遊べるがその他は次々遊びが移る ・1人で遊ぶことが多い ・上記について、さくらんぼ園通園の勧め



9.医療的にかかわり《診察の内容》

年齢または日付	医療機関・診療科名	診断・検査結果など	治療方針など
3歳8か月 (H○年○月○日)	京都府立舞鶴こども療育センタ	高機能自閉症の疑い	① 家庭療育
	一小児科	CARS 27.0	・かわりばんこ遊び
		・要求中心の一方的な関わり	・待つ練習
		・質問の意図がわからないとオウム返し	・意図的に変化を加えた遊びへの誘導
		・パターン化した遊び	・スケジュールの導入
		・協調運動がぎこちない	② さくらんぼ園の紹介
		・就寝儀式などこだわり	③ 次回脳波検査
		・偏食、睡眠障害	
		・横目で見る	
		・呼名反応が不安定	
		・多動	
4歳2か月	同上	脳波検査	異常なし
5歳1か月	舞鶴医療センター耳鼻咽喉科	アレルギー性鼻炎	インターナル点鼻
5歳2か月	京都府立舞鶴こども療育センタ	新版K式発達検査2020	就学に向けての教育相談を勧
	一小児科	(検査結果別紙)	める
		高機能自閉症確定診断	
7歳2か月	同上	Frostig視知覚発達検査	Dyslexiaとして通級指導で対
		(検査結果別紙)	応依頼
12歳0か月	同上	WISC-V知能検査	中学校進路相談の参考とする
		(検査結果別紙)	

発達支援ファイル「あゆみ」第3版作成:

京都府立舞鶴こども療育センター小児科

舞鶴市社会福祉協議会 舞鶴こども発達支援施設 さくらんぼ園

舞鶴市こども家庭しあわせ課(こども家庭センター)

舞鶴市子育て応援課

舞鶴市乳幼児教育推進課(乳幼児教育センター)